

信州大学医学部
外科学講座(外科学第二)
開講 60 周年記念市民公開講座プログラム

“外科、その視線の先”

日時 平成 22 年 4 月 17 日(土曜日) 午後 1 時開演
場所 信州大学医学部附属病院 新外来棟 4 階 大会議室

主催:信州大学医学部外科学講座(外科学第二)開講 60 周年記念実行委員会

信州大学医学部外科学講座(外科学第二)同門会

松本市旭 3-1-1 電話 0263-37-2657

後援:松本市、長野県医師会、松本市医師会、長野県看護協会、信濃毎日新聞社、

SBC 信越放送、市民タイムス、松本平タウン情報、医療タイムス社

開講 60 周年記念市民公開講座開催にあたって

平成 22 年 4 月 17 日

昭和 24 年、初代丸田公雄教授とわずか 2 名の教室員で信州大学医学部外科学第二講座が開講してから 60 年が経過いたしました。開講直後は、無一物の状態でしたが、「人の和」と「責任ある医療」をモットーに、当初甲状腺外科、消化器外科を中心に、診療、研究を重ね、毎年、教室員が増加し、教授以下、不眠不休の努力によって発展し、幾多のすぐれた外科医が長野県をはじめ全国各地で活躍してきました。その後、昭和 40 年頃から新たに胸部外科の診療が加わり、第二代降旗力男教授、第三代飯田太教授、私へと続き、新しい卒後臨床研修制度や外科専門医制度の発足という大きな改革と時代の要請によって平成 14 年に診療科の再編成が行なわれ、新たな外科学講座が発足いたしました。

外科学講座(外科学第二)は、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺内分泌外科の診療を担当し、このたび 60 周年の開講を記念し、“外科、その視線の先”と題して市民公開講座を開催し、外科医不足にもかかわらず、外科の未来を切り拓こうと日夜努力している外科の実情と将来について、そして、水田祥代 九州大学理事・副学長には、小児外科医としての自らのご経験をもとに、『小児外科医の祈り』と題して特別講演を企画させていただきました。

外科の分野でも、新たな診断や治療法の研究・開発が盛んに行われ、長足の進歩を遂げております。信州大学医学部外科学講座(外科学第二)では、がんや救急対応を含めた循環器疾患などを中心に、長野県をはじめ多くの関連諸施設と連携して診療や研究に取り組んでおり、今後とも教室員一同力を合わせて、皆さん方と一致協力してより安全で確実な治療法の研究・開発を推進しつつ、日常の診療では最善の治療結果が得るように努力していきたいと存じます。

信州大学医学部外科学講座(外科学第二)

教授 天野 純

開会の辞

信州大学医学部外科学講座(外科学第二)准教授 乳腺内分泌外科診療教授 伊藤 研一 先生

挨拶

信州大学・医学部長

久保 恵嗣 先生

講演 『外科の未来を拓く』

座長 信州大学医学部外科学講座(外科学第二)教授

天野 純 先生

1. 心臓血管外科 “心臓血管外科手術 up to date
—患者さんにやさしい心臓血管外科治療—”

信州大学医学部外科学講座(外科学第二) 心臓血管外科講師

高野 環 先生

2. 呼吸器外科 “身体にやさしい肺がん手術を目指して”

信州大学医学部外科学講座(外科学第二)准教授 呼吸器外科診療教授

吉田 和夫 先生

3. 乳腺内分泌外科 “個別化が進む乳がんの治療”

信州大学医学部外科学講座(外科学第二)准教授 乳腺内分泌外科診療教授

伊藤 研一 先生

休憩

特別講演

座長 信州大学医学部附属病院長

小池 健一 先生

『小児外科医の祈り』

九州大学理事・副学長

元九州大学病院長・小児外科教授

水田 祥代 先生

閉会の辞

信州大学医学部外科学講座(外科学第二)准教授 呼吸器外科診療教授

吉田 和夫 先生

講師履歴

すいた さちよ
水田 祥代



【所属】九州大学 役職:理事・副学長(元九州大学医学部小児外科学講座教授・附属病院長)
【経歴】1966年九州大学医学部卒業、米空軍立川病院インターン、1967年九州大学大学院医学研究科入学、1968年英国リバプール大学付属小児病院留学、1974年九州大学大学院修了(医学博士)、九州大学医学部助手(第2外科)、1979年九州大学医学部付属病院 講師(小児外科)、1983年福岡市立こども病院外科部長、1986年九州大学医学部助教授(小児外科学講座)、1989年九州大学医学部教授(小児外科学講座)、2004年九州大学病院院長、2008年九州大学理事・副学長にて現在に至る。【所属学会及び役職】日本小児外科学会(理事長、会長、名誉会員)、日本外科学会(評議員、特別会員)、日本外科代謝栄養学会(理事、会長、名誉会員)、日本周産期-新生児学会(理事、会長、名誉会員)、日本小児がん学会(理事、会長、名誉会員)、太平洋小児外科学会(PAPS)(理事)、英国小児外科学会(BAPS)(評議員)、アジア小児外科学会(理事長、会長)、米国小児科学会名誉会員など。日本学術会議会員、文部科学省中央教育審議会委員、厚生労働省医道審議会委員【賞歴】日本女医会吉岡弥生賞1995年、大学勤務医福岡県医師会会長賞2001年、米国小児科学会外科部門 STEPHEN GANS 賞2002年

たかの たまき
高野 環



【所属】信州大学医学部外科学講座(外科学第二)、同附属病院心臓血管外科 役職:講師(心臓血管外科)【経歴】1991年弘前大学医学部卒業、信州大学医学部第二外科入局、1997年アメリカ Baylor 医科大学外科研究員、1998年同講師、1999年同助教授、2000年信州大学医学部外科学第二講座医員、2001年信州大学医学部外科学第二講座助手、2003年イタリア G.D'Annunzio 大学 Visiting Surgeon、篠ノ井総合病院心臓血管外科医長、2009年信州大学医学部外科学講座(外科学第二)講師にて現在に至る。【専門】心臓血管外科 資格:心臓血管外科学会専門医、同国際会員、日本胸部外科学会指導医、日本外科学会専門医、同指導医【所属学会】American Society for Artificial Internal Organs、International Society for Rotary Blood Pumps、他

よしだ かずお
吉田 和夫



【所属】信州大学医学部外科学講座(外科学第二)、同附属病院呼吸器外科 役職:准教授、科長(呼吸器外科)【経歴】1990年信州大学医学部卒業、信州大学医学部第二外科入局、1992年飯田市立病院外科、1993年岡谷塩嶺病院、1995年信州大学医学部附属病院医員、1997年国立療養所中信松本病院呼吸器外科、1998年結核予防会複十字病院呼吸器外科、1999年医学博士、ハーバード大学研究員、2000年ケース・ウェスタン・リザーブ大学研究員、2002年信州大学医学部外科学第二助手、2003年伊那中央病院呼吸器外科医長、2004年信州大学医学部外科学講座(外科学第二)助手、2005年同講師、2006年信州大学医学部附属病院呼吸器外科診療科長、2007年信州大学医学部外科学講座(外科学第二)准教授にて現在に至る。【専門】呼吸器外科 資格:日本外科学会指導医・専門医、日本呼吸器外科学会評議員・専門医・胸腔鏡インストラクター、日本胸部外科学会評議員・指導医、日本癌治療認定医機構暫定教育医【所属学会】日本外科学会日本呼吸器外科学会、日本胸部外科学会、日本肺癌学会、日本臨床外科学会、胸腺研究会、他

いとう けんいち
伊藤 研一



【所属】信州大学医学部外科学講座(外科学第二)、同附属病院乳腺内分泌外科 役職:准教授(外科学第二)、科長(乳腺内分泌外科)【経歴】1988年金沢大学医学部卒業、信州大学医学部外科学第二入局。以降、信州大学医学部附属病院、市立甲府病院、国立松本病院、前澤病院、厚生連安曇総合病院などで外科研修。大分医科大学、九州大学で基礎医学研究を行う。1998年クイーンズ大学(カナダ)がん研究所研究員、2001年信州大学医学部外科学第二助手、2003年信州大学医学部附属病院遺伝子診療部講師、2008年信州大学医学部外科学第二准教授、同附属病院乳腺内分泌外科診療科長。現在に至る。【専門】乳がん、甲状腺がんの診断と治療 資格:日本外科学会専門医・指導医。日本乳癌学会乳腺専門医。日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医。内分泌甲状腺外科暫定専門医【所属学会】日本外科学会、日本乳癌学会、日本内分泌外科学会、日本甲状腺外科学会、日本臨床腫瘍学会、日本癌学会、日本癌治療学会、他